

松本市の景気動向

— 中小企業景気動向基本調査 —

【令和1年5月】

■調査概要（データ対象期間：令和1年5月1日～5月31日）

○調査期間：令和1年5月29日～令和1年6月18日

○調査対象：市内中小企業200企業に対して郵送等によるアンケート調査

○回収状況：建設業23企業、製造業21企業、卸売業12企業、小売業28企業

飲食業18企業、サービス業48企業（運輸、不動産仲介業を含む）

<合計150企業>

○調査項目：5月の売上・仕入・営業利益・受注量・受注単価・販売(客)数・販売(客)単価

状況向こう3ヵ月の業況見通し（DI値を集計）

(注)DI(Diffusion Index)値は、売上などの各項目についての判断の状況を示す。ゼロを基準と

して、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下

向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示す

ものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

※DI=(増加・好転などの回答割合)-(減少・悪化などの回答割合)

松本市・松本商工会議所

概況

業況DIは0からプラスに 水準DIは0からマイナスになった

1. 業況判断

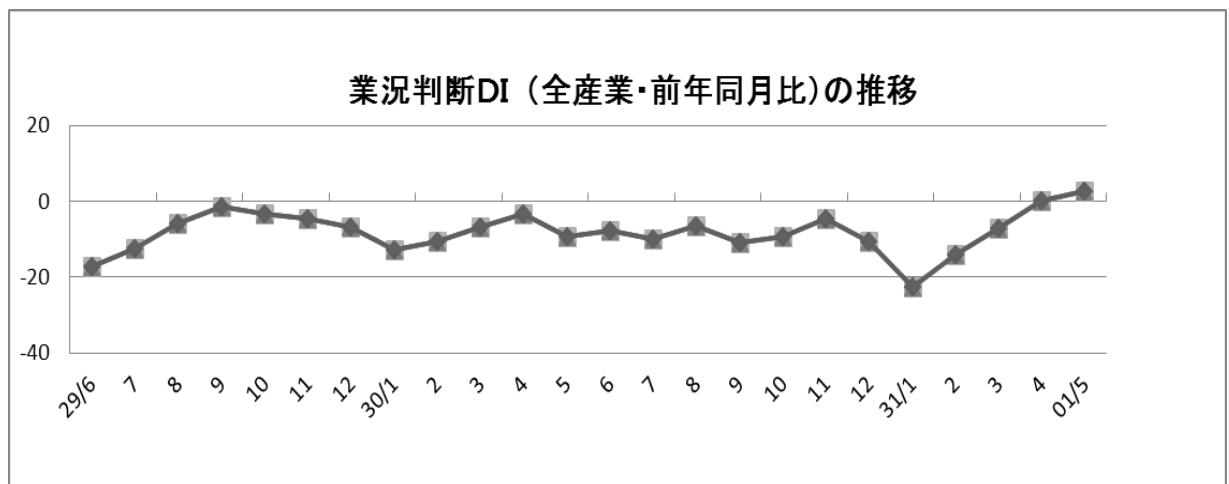
- 全産業合計の業況DI（前年同月比ベース）は、前月（0.0）プラス幅が2.7ポイント拡大し、2.7となった。業種別では、サービス業、製造業は0からプラスになり、卸売業はマイナスから0に、飲食業はプラスから0になった。建設業はマイナス幅が縮小し、小売業はマイナス幅が拡大した。
- 全産業合計の水準DIは、前月（0.0）よりマイナス幅が10ポイント拡大し、▲10.0となった。業種別では、サービス業はプラス幅が縮小し、卸売業は横ばいとなった。飲食業はプラスから0となり、製造業は0からマイナスとなり、建設業、小売業はマイナス幅が拡大した。

業況判断DI

	業況[前年同月比]				今月の水準			
	好転%	不変%	悪化%	DI	良い%	普通%	悪い%	DI
合計	20.0 (14.7)	62.7 (70.6)	17.3 (14.7)	2.7 (0.0) ↗	17.3 (19.3)	55.4 (61.4)	27.3 (19.3)	▲10.0 (0.0) ↘
建設業	8.7 (0.0)	78.3 (91.3)	13.0 (8.7)	▲4.3 (▲8.7) ↗	8.7 (8.7)	65.2 (78.3)	26.1 (13.0)	▲17.4 (▲4.3) ↘
製造業	19.0 (8.7)	66.7 (82.6)	14.3 (8.7)	4.7 (0.0) ↗	19.0 (26.1)	38.1 (47.8)	42.9 (26.1)	▲23.9 (0.0) ↘
卸売業	16.7 (8.3)	66.6 (75.0)	16.7 (16.7)	0.0 (▲8.4) ↗	25.0 (16.7)	50.0 (66.6)	25.0 (16.7)	0.0 (0.0) →
小売業	21.4 (17.9)	53.6 (60.7)	25.0 (21.4)	▲3.6 (▲3.5) ↘	10.7 (17.9)	53.6 (50.0)	35.7 (32.1)	▲25.0 (▲14.2) ↘
飲食業	16.7 (27.8)	66.6 (55.5)	16.7 (16.7)	0.0 (11.1) ↘	22.2 (27.8)	55.6 (55.5)	22.2 (16.7)	0.0 (11.1) ↘
サービス業	27.1 (19.6)	56.2 (65.2)	16.7 (15.2)	10.4 (4.4) ↗	20.8 (19.6)	60.4 (67.4)	18.8 (13.0)	2.0 (6.6) ↘

()内は前月データ

※「業況[前年同月比]」・・・前年同月の業況との比較による回答の集計
「今月の水準」・・・事業主の方の主観による回答の集計

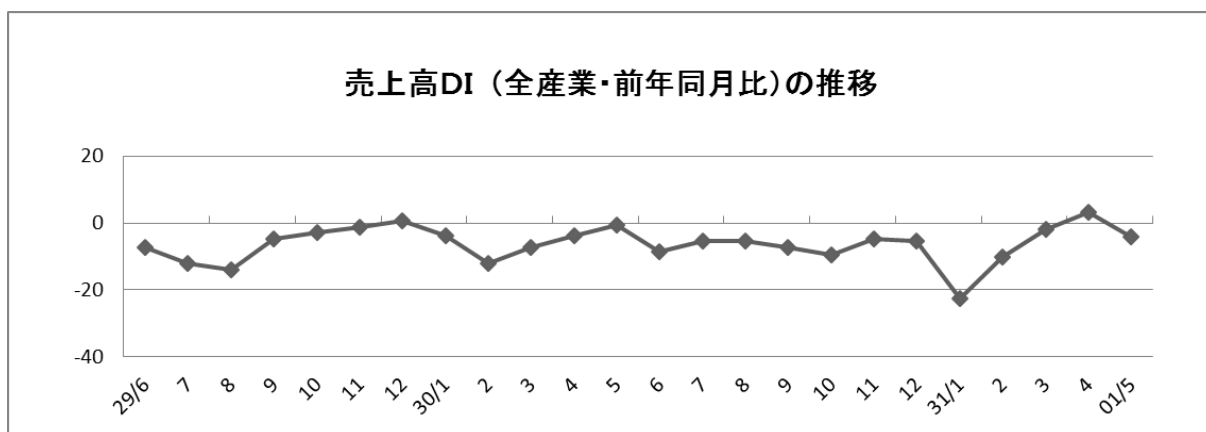


2. 売上高DI（前年同月比）

○全産業合計の売上高DIは、前月（3.3）から7.3ポイント縮小しマイナスに転じて▲4.0となった。業種別に見るとサービス業はプラス幅が拡大し、飲食業はプラスから0になり、卸売業は0からマイナスになった。製造業はプラスからマイナスに転じ、小売業、建設業はマイナス幅が拡大した。

【対前年同月比売上高業種別DIの推移】

	30年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月	4月	01年5月
全 体	▲ 8.6	▲ 5.3	▲ 5.3	▲ 7.2	▲ 9.6	▲ 4.7	▲ 5.4	▲ 9.4	▲ 22.5	▲ 10.0	▲ 1.9	3.3	▲ 4.0
建設業	▲ 4.6	▲ 8.7	4.3	0.0	16.0	8.7	14.3	0.0	▲ 10.0	▲ 20.0	8.4	▲ 8.7	▲ 26.1
製造業	▲ 5.0	0.0	18.2	13.0	0.0	8.7	▲ 16.6	▲ 19.1	▲ 36.0	▲ 10.0	10.0	4.4	▲ 4.8
卸売業	26.6	▲ 26.7	▲ 18.2	▲ 30.0	▲ 54.5	▲ 7.2	▲ 38.5	▲ 21.4	▲ 40.0	▲ 26.7	▲ 15.4	0.0	▲ 25.0
小売業	▲ 38.7	▲ 8.0	▲ 30.8	▲ 29.0	▲ 10.0	▲ 26.7	▲ 13.4	▲ 6.0	▲ 29.6	▲ 12.0	▲ 12.9	▲ 3.6	▲ 14.3
飲食業	▲ 22.2	▲ 21.1	▲ 61.1	▲ 15.8	▲ 52.6	▲ 17.6	▲ 22.2	▲ 5.6	▲ 35.3	▲ 35.3	▲ 22.2	11.1	0.0
サービス業	2.3	8.5	15.4	2.1	0.0	2.3	10.0	▲ 9.5	▲ 6.4	10.5	6.6	10.8	16.7

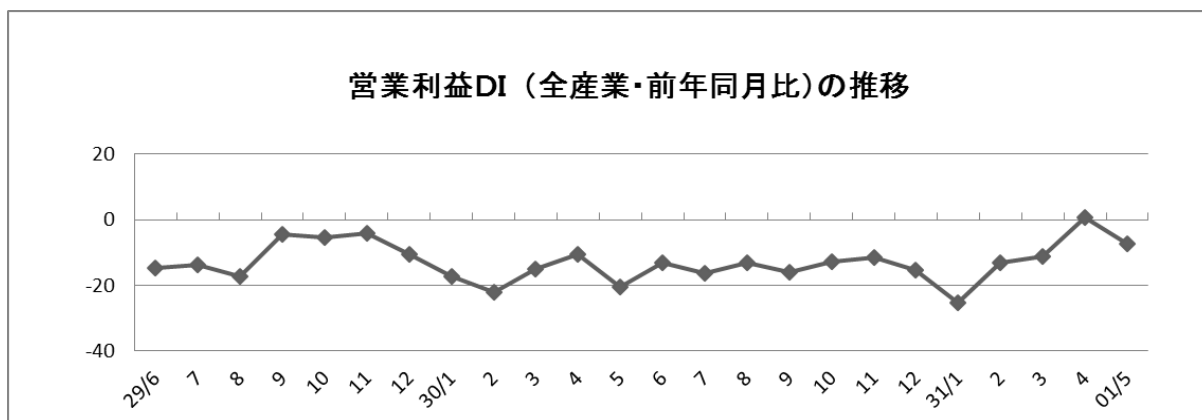


3. 営業利益DI（前年同月比）

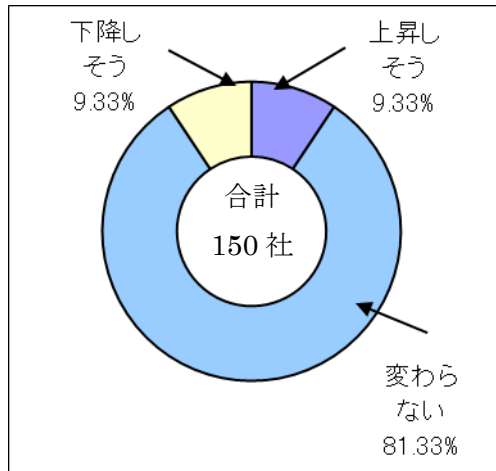
○全産業合計の営業利益DIは、前月（0.7）より8.1ポイント縮小しマイナスに転じて、▲7.4となった。業種別に見ると、卸売業はプラス幅が縮小し、製造業、サービス業はプラスからマイナスに転じた。飲食業は0からマイナスになり、小売業はマイナス幅が縮小し、建設業はマイナス幅が拡大した。

【対前年同月比営業利益業種別DIの推移】

	30年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月	4月	01年5月
全 体	▲ 20.5	▲ 13.3	▲ 16.5	▲ 13.1	▲ 16.0	▲ 12.7	▲ 11.4	▲ 15.3	▲ 25.2	▲ 13.3	▲ 11.2	0.7	▲ 7.4
建設業	▲ 13.6	▲ 21.7	▲ 17.4	▲ 22.7	▲ 12.0	▲ 13.1	▲ 4.7	0.0	▲ 15.0	▲ 16.0	▲ 4.2	▲ 4.4	▲ 13.1
製造業	▲ 15.0	▲ 18.2	18.2	13.0	0.0	8.7	▲ 11.1	▲ 23.8	▲ 32.0	▲ 30.0	▲ 20.0	8.7	▲ 19.1
卸売業	▲ 6.6	▲ 6.7	▲ 18.2	▲ 10.0	▲ 36.3	▲ 7.2	▲ 30.8	▲ 7.1	▲ 40.0	▲ 6.7	▲ 7.7	25.0	8.3
小売業	▲ 54.9	▲ 20.0	▲ 46.2	▲ 35.4	▲ 20.0	▲ 36.6	▲ 20.0	▲ 24.2	▲ 44.4	▲ 12.0	▲ 25.8	▲ 14.2	▲ 10.7
飲食業	▲ 33.3	▲ 36.9	▲ 66.6	▲ 26.3	▲ 47.4	▲ 17.6	▲ 33.3	▲ 16.6	▲ 35.3	▲ 41.1	▲ 27.8	0.0	▲ 5.5
サービス業	▲ 2.3	4.3	1.9	▲ 2.1	▲ 6.4	▲ 7.0	4.0	▲ 14.3	▲ 6.4	2.1	4.4	2.1	▲ 2.1

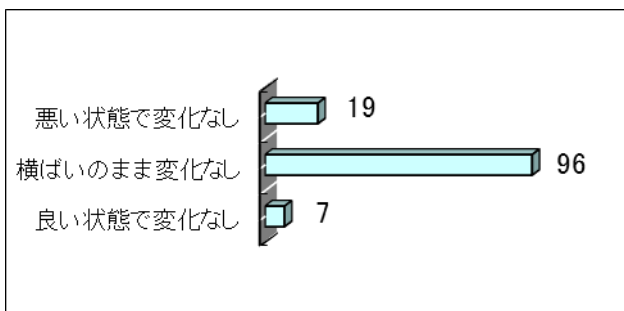


◇ 向こう3カ月の見通し ◇



○令和元年6月～令和元年8月の見通しDIは、「上昇しそう」が前月の調査に比べ0.67ポイント減少し9.33%、「下降しそう」が1.34ポイント減少し9.33%となった。業種別の見通しDIは建設業(13.0)、製造業(▲14.3)、卸売業(0.0)、小売業(▲10.7)、飲食業(▲5.5)、サービス業(8.4)であった。

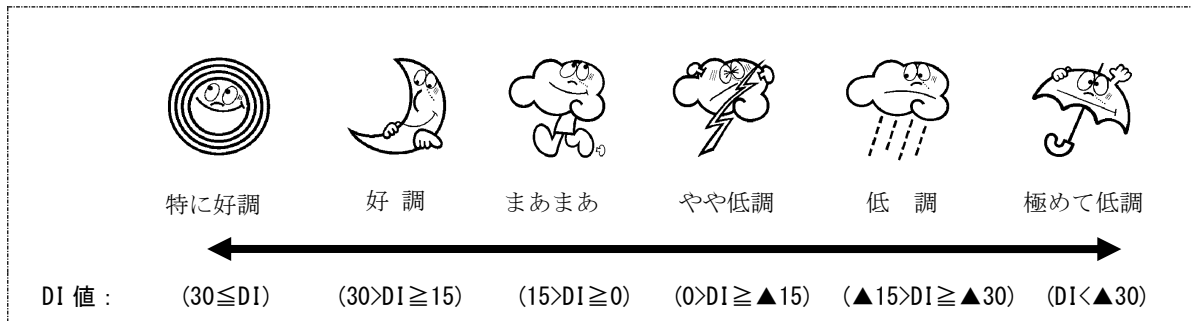
➡「上昇しそう」では「公共事業の発注が始まるため」「公共工事が決まった他、民間も決まりだしたため」(建設業)「大型連休特需の反動が大きかったため」(製造業)「観光シーズン到来のため」「県の事業費が35%増、75%増と昨年より大幅に伸びているため」「夏の季節はフットネイルされるお客様が増えるため」「トリートメントや縮毛矯正のバージョンがアップするため」「職業訓練応募者数、受講者数ともに増加しているため」「5月後半に体験に来た方がいたため」(サービス業)といった声が寄せられた。



➡「下降しそう」では「夏期は元々仕事量が少ないため」「印刷用紙、封筒類、材料費、外注加工費がことごとく値上げになり影響があるため」「中国経済動向によるため」「3月から5月と銘板の受注が少なく今後も続きそうのため」(製造業)「大型連休前後から個人消費が減ってきていて期待薄であるため」「今年も暑い夏を迎えそうのため」(小売業)「GWにより給与収入の減少が6月まで続く予想のため」「例年6月は売上が落ちるため」「8月前半以外はそれ程忙しくないため」(飲食業)「売上減のため」「消費低迷、競争激化のため」(サービス業)といった声が寄せられた。

業種別景況

<DI | 君の景況判断>



1. 建設業



【項目別DIの推移】

	30年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月	4月	01年5月
売上高	▲4.6	▲8.7	4.3	0.0	16.0	8.7	14.3	0.0	▲10.0	▲20.0	8.4	▲8.7	▲26.1
受注量	0.0	0.0	13.1	9.1	12.0	▲8.7	9.5	13.7	▲10.0	▲12.0	▲16.7	▲8.7	▲8.7
受注単価	0.0	▲8.7	0.0	4.6	8.0	▲4.4	4.8	4.6	5.0	4.0	0.0	0.0	▲4.3
営業利益	▲13.6	▲21.7	▲17.4	▲22.7	▲12.0	▲13.1	▲4.7	0.0	▲15.0	▲16.0	▲4.2	▲4.4	▲13.1
見通し	18.2	13.1	8.7	9.1	12.0	4.4	4.8	13.7	10.0	12.0	▲4.1	13.1	13.0

<経営者の目・見方・etc>

建設業

・公共工事の発注が少ない時季であり、受注はあまりない。

総合建設

・依然として技術者が不足している。

建築工事

・8月から県の失格基準が2%上がりそうである。
 ・過去にないほど受注が無い状態が続いている。ようやく来月下旬からの受注がちらほらとあり、ほっとしている状況である。

建築・土木工事

・国、県は前年比大幅アップとの発表だが、市は前年と変わらずとの事であった。対応の仕方に疑問を感じる。

土木工事

・平成から令和へ新しい年号になり社会資本整備の投資拡大に期待したい。
 ・松本市が波田の竜島温泉にウッドチップボイラーを導入した。松枯れ材の燃料化が期待される。普及が進むと良いと思う。

管工事

・毎年度5月は売上が少ない。6月以後に期待したい。

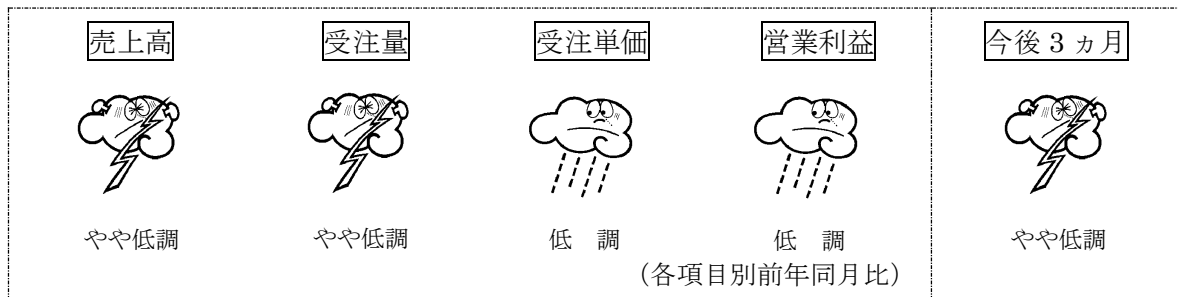
石材

・米中貿易摩擦の動きが、どうなるのか分からなくて不安である。

鉄工

- ・鋼材不足が今後、特に強力ハイテンションボルトがどうなるのか不安である。
- ・東京オリンピック、消費税増税の特需と思われる需要が一服しつつある感じである。年末から来年にかけての状況がいよいよ不透明になりつつあり不安を感じる。
- ・高力ボルトの納期が改善されていないので、先行き不透明感が出始めている。今後の受注が不安視される。

2. 製造業



【項目別DIの推移】

	30年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月	4月	01年5月
売上高	▲ 5.0	0.0	18.2	13.0	0.0	8.7	▲ 16.6	▲ 19.1	▲ 36.0	▲ 10.0	10.0	4.4	▲ 4.8
受注量	0.0	▲ 4.5	4.6	13.0	▲ 4.0	8.7	▲ 22.2	▲ 23.8	▲ 40.0	▲ 5.0	0.0	8.7	▲ 14.3
受注単価	▲ 5.0	▲ 18.2	▲ 13.7	▲ 13.1	▲ 16.7	▲ 8.7	▲ 16.7	▲ 9.5	▲ 16.0	▲ 20.0	▲ 10.0	0.0	▲ 19.0
営業利益	▲ 15.0	▲ 18.2	18.2	13.0	0.0	8.7	▲ 11.1	▲ 23.8	▲ 32.0	▲ 30.0	▲ 20.0	8.7	▲ 19.1
見通し	15.0	▲ 4.6	0.0	8.7	▲ 4.2	▲ 8.7	▲ 11.1	▲ 14.3	12.0	0.0	▲ 10.0	▲ 30.4	▲ 14.3

<経営者の目・見方・e t c >

印刷

- ・10連休の影響が(良くも悪くも)もつとあるかと思っていたが、危惧する程のことは無かった。こんなに長い連休を必要としないが、物流が停まってしまっている以上、何も出来なかった。
- ・年度末、年度始め、地方選挙、改元と続いた繁忙期がひと段落して、一気に用紙、封筒、材料の値上げが押し寄せてきた。既に著しいデフレ価格のため適正利益の確保は極めて困難である。
- ・巷では「選挙や改元で忙しいでしょ」と言われるが、そういう安易な発言をしないで欲しいほど、大きな動きの無い状況だった。事前に元号対策(「平成」をトルで対応)があったため通常と変わらなかった。
- ・各種物価上昇にも関わらず、新年度の公立学校(PTA含む)契約は予算増についてほぼ見込めない状況である。
- ・印刷業界(頁物印刷)は、動きが鈍く低調である。

金属塗装

- ・米中貿易摩擦の影響か受注が減ってきている。

紙器

- ・休日が多く稼働日が少なく、あまり良くなかった。先が見えてこない。

小型情報機器組立

- ・先の見通しが分からず大変である。

精密機械

- ・景気を押し上げる話題と下げる話題が両方あり極めて混乱している。全体感としては悲観し過ぎてもいけない感じもある。

3. 卸売業



【項目別DIの推移】

	30年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月	4月	01年5月
売上高	26.6	▲ 26.7	▲ 18.2	▲ 30.0	▲ 54.5	▲ 7.2	▲ 38.5	▲ 21.4	▲ 40.0	▲ 26.7	▲ 15.4	0.0	▲ 25.0
販売客数	0.0	▲ 6.7	0.0	▲ 10.0	▲ 27.3	▲ 14.3	▲ 15.4	▲ 14.3	▲ 13.3	▲ 6.7	▲ 7.7	0.0	▲ 16.7
販売客単価	▲ 6.6	▲ 6.7	▲ 9.1	10.0	0.0	14.3	▲ 7.7	0.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 15.4	0.0	0.0
営業利益	▲ 6.6	▲ 6.7	▲ 18.2	▲ 10.0	▲ 36.3	▲ 7.2	▲ 30.8	▲ 7.1	▲ 40.0	▲ 6.7	▲ 7.7	25.0	8.3
見通し	6.7	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	▲ 7.7	▲ 14.3	▲ 6.7	6.7	0.0	0.0	0.0

<経営者の目・見方・etc>

- | | |
|------|---|
| 土産品 | ・10連休の後半は好天にも恵まれ沢山の方が市内観光地を訪れ、土産品の売上も好調であった。 |
| 魚介類 | ・GW10連休も前半のみで後半は貢献しなかった。 |
| 金属製品 | ・建築関連は依然ボルトの納期遅れが続いており工期延期の話が出ている。
・産機、建機関連も米中貿易摩擦問題により先々への不透明感は否めない状況である。 |
| 機械工具 | ・連休はあったものの受注を抱えていたため売上ができた。在庫がたまり気味になってきている。 |

4. 小売業








【項目別DIの推移】

	30年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月	4月	01年5月
売上高	▲ 38.7	▲ 8.0	▲ 30.8	▲ 29.0	▲ 10.0	▲ 26.7	▲ 13.4	▲ 6.0	▲ 29.6	▲ 12.0	▲ 12.9	▲ 3.6	▲ 14.3
販売客数	▲ 25.8	▲ 32.0	▲ 38.5	▲ 38.7	▲ 23.3	▲ 26.6	▲ 20.0	▲ 24.2	▲ 37.0	▲ 16.0	▲ 12.9	3.6	▲ 3.6
販売客単価	▲ 19.4	0.0	▲ 7.7	▲ 12.9	▲ 3.3	▲ 13.4	▲ 3.4	0.0	▲ 14.8	4.0	▲ 16.1	▲ 7.2	▲ 7.2
営業利益	▲ 54.9	▲ 20.0	▲ 46.2	▲ 35.4	▲ 20.0	▲ 36.6	▲ 20.0	▲ 24.2	▲ 44.4	▲ 12.0	▲ 25.8	▲ 14.2	▲ 10.7
見通し	3.2	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 9.1	0.0	4.0	6.4	3.5	▲ 10.7

<経営者の目・見方・e t c>

- 印章
 - ・大型連休前後から個人需要が減ってきている。ボーナス支給まではこの調子かもしれない。
 - ・QRコード決済を利用できるお店が増えている。
- 印章・刃物研ぎ
 - ・連休中、外国人観光客の姿を見かける事が少なく、連休後客足は極端に落ち込んだ。クラフトフェアに期待したが、昨年とは比べ物にならない程であった。暑さのせいだろうか。
- 住宅機器
 - ・10連休で出勤日が少なくバタバタした。
- 生鮮食品
 - ・10連休で人が動き、忙しい日々であった。母の日も続き良かった。
 - ・仕入れ値が、5年前の高値時より高くなり利益率が悪い。
- 菓子
 - ・大型連休後半は前半に比べ観光客も少なく感じた。
 - ・米中貿易摩擦で日本経済の先行きは不透明だが、10月に消費税が上がると思いと景気の後退に繋がると思う。食品は現状の8%でも包装資材や生産に必要な経費が上がれば経営も苦しくなる。商品の値上げは難しい。
- 洋菓子
 - ・GWは落ち着いていたが、母の日は盛況だった。
- おやき
 - ・新規の取引先の販売が安定しており、前からの取引先の一部の売上が上がっているので以前より楽になった。
 - ・近所の外食店や居酒屋が、全体的に元気がなくなったようにみえる。
- ショッピングセンター
 - ・GW10連休は多くの人出に恵まれたが、その反動も大きく、トータルでは±0の結果であった。動員は一定期間に集中するよりも分散した方が好ましいと感じた。
- 陶磁器
 - ・例年大型連休後は農繁期に入るため地元の消費は停滞する。今年は10連休での出費がかさみ、かつてない消費不況になるかと心配したが実際はそうでもなかった。
 - ・旧開智学校の国宝指定は「学都松本」にふさわしいシンボルの誕生であり観光の集客以上に街の価値向上に繋がる。出張先で「松本走り」の話になると開智学校の話題にすり替えることにしている。
- 人形
 - ・同業者の転廃業が相次いでいる。
- 書籍・木のおもちゃ
 - ・大型連休はそれなりに来客があったものの全体としては苦戦続きである。需要を掘り起こし努力するのみである。

5. 飲食業

売上高	受注量	受注単価	営業利益	今後3ヵ月
				
まあまあ	まあまあ	やや低調	やや低調	やや低調

(各項目別前年同月比)

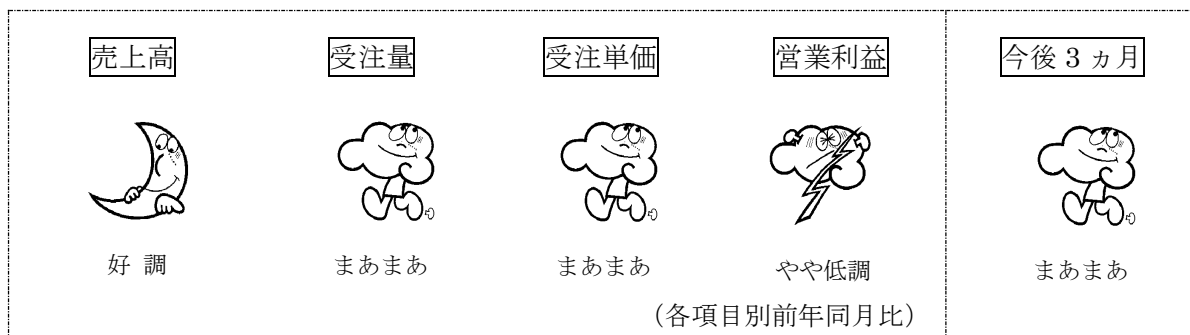
【項目別DIの推移】

	30年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月	4月	01年5月
売上高	▲ 22.2	▲ 21.1	▲ 61.1	▲ 15.8	▲ 52.6	▲ 17.6	▲ 22.2	▲ 5.6	▲ 35.3	▲ 35.3	▲ 22.2	11.1	0.0
販売客数	▲ 22.2	▲ 21.0	▲ 72.2	▲ 15.8	▲ 52.6	▲ 11.7	▲ 22.2	▲ 11.1	▲ 23.6	▲ 41.1	▲ 16.7	11.1	5.5
販売客単価	▲ 16.6	▲ 10.5	▲ 33.3	▲ 5.3	▲ 36.8	▲ 5.9	▲ 27.8	▲ 16.6	▲ 29.4	▲ 23.5	▲ 27.7	0.0	▲ 5.5
営業利益	▲ 33.3	▲ 36.9	▲ 66.6	▲ 26.3	▲ 47.4	▲ 17.6	▲ 33.3	▲ 16.6	▲ 35.3	▲ 41.1	▲ 27.8	0.0	▲ 5.5
見通し	▲ 5.6	21.0	0.0	▲ 15.8	▲ 10.5	17.6	11.1	▲ 11.1	0.0	11.7	▲ 11.1	0.0	▲ 5.5

<経営者の目・見方・e t c>

料理	<ul style="list-style-type: none">・長い連休明けで個人の来客は少なかったが、宴会では山菜等をお出しでき良かった。・異常な程のGWの混雑であった。連日の来客に仕込んだ物も底を尽き、頑張った末は疲れ込み店も連休をとった。松本は人気の観光スポットなのだろうか、おかげ様で売上はうるおった。
郷土料理	<ul style="list-style-type: none">・期待した10連休は後半が大幅アップして好調だった。花フェスタのイベントも売上に貢献した
仕出し料理	<ul style="list-style-type: none">・長い大型連休の為売上が減少した。・多くのお客様に支えられ、愛され、続けて来る事が出来たのだと実感する5月であった。
中華料理	<ul style="list-style-type: none">・GWが長すぎて、期間中は宴会が無くなるため客単価が下がり、しかし客数は多いので身体は疲れる。GWが終わると、当然財布の紐は固くなり全体的に暇になるという4月末の予想は大当たりであった。・6月は総会が多い月なので、今以上に総会がらみでの宴会を増やせるよう努力していきたいと思う。
創作料理	<ul style="list-style-type: none">・地域に一軒だけあったスーパーが6月いっぱい閉店となる。すでに仕入れは止めたようで6月からの材料の仕入れに苦慮している。材料在庫表を作成中だが先行き不透明である。地域においても高齢者へのダメージは大きく、買物難民の増大が考えられる。
居酒屋	<ul style="list-style-type: none">・10連休中の人出は多かったが反動が二週目より出てきた。・公園通りの呼び込みのマナーが酷いと感じる。
寿司	<ul style="list-style-type: none">・10連休中は、令和のお祝いムードに加えて観光客の方も多く、予想以上のご利用を頂いた。・今後も市場が縮小する中でインバウンドを含めた「観光」は大きなテーマとなる事が予想される。自ら積極的な施策を考えて取り組んでいこうと考えている。・連休中、外国人の来店が少し目立った。日頃あまり気にしていなかった言葉の壁が非常に困った。最近テレビ等で翻訳機なる物が発売されているらしい。購入しようかと考えている。
そば	<ul style="list-style-type: none">・大型連休後半も前半以上に大勢の人出があり集客できて令和の恩恵を頂いた。・この先、消費税の増税や東京オリンピック終了後の先を見据え真摯に対応していこうと考えている。・10連休は忙しかったが、いつも通り連休以外は暇であった。・製造を伴う店には10連休は長すぎると思った。

6. サービス業



【項目別DIの推移】

	30年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	31年1月	2月	3月	4月	01年5月
売上高	2.3	8.5	15.4	2.1	0.0	2.3	10.0	▲ 9.5	▲ 6.4	10.5	6.6	10.8	16.7
販売客数	▲ 8.9	6.4	1.9	▲ 8.4	▲ 4.2	▲ 7.0	0.0	▲ 9.5	17.0	2.1	4.4	4.3	0.0
販売客単価	4.4	4.3	5.8	4.2	4.2	7.0	4.0	0.0	▲ 2.1	6.2	6.7	▲ 4.4	2.1
営業利益	▲ 2.3	4.3	1.9	▲ 2.1	▲ 6.4	▲ 7.0	4.0	▲ 14.3	▲ 6.4	2.1	4.4	2.1	▲ 2.1
見通し	8.9	14.8	0.0	6.2	4.2	▲ 7.0	▲ 4.0	▲ 2.3	10.6	16.7	8.9	4.3	8.4

<経営者の目・見方・etc>

自動車整備、 板金塗装	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に仕事量は落ち着き始めたように感じる。 ・天候が不順なのでユーザーの気持ちも変化があるように感じる。今夏の天候も気になるところだ。
機械設計	<ul style="list-style-type: none"> ・1テーマキャンセルになった。年内は何とかなると思うが、今期後半がどうなるか心配である。
ソフトウェア	<ul style="list-style-type: none"> ・今までもメールなどインフラ基盤については、クラウドを利用しているユーザー企業が多かったが、県内中小企業でも生産や販売など基幹業務のデータベースアプリケーションについて、クラウド上で構築されることが多くなった。セキュリティなど、以前多かった懸念材料が払拭されつつあるのかと思う。
宿泊	<ul style="list-style-type: none"> ・10連休は長すぎるかと心配もあったが、日本全国、人は動いた気がする。 ・当初の気象状況から自然の動きは早いと予想したが気温も下ったりして、花等の見頃は長く続いた。
旅館	<ul style="list-style-type: none"> ・工事の為閉鎖されていた白骨公共野天風呂が、4月27日から11月30日の予定で営業が再開され、それに伴い昼間の賑やかさが帰って来たので宿泊増へと繋がれば良いと期待している。 ・改元による10連休のため良かった。
温泉旅館	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネス、観光、外国人も宿泊者多数で、特に10連休は多忙であったが、しかしきつといつか「しわよせ」が来そうな気がする。
ホテル	<ul style="list-style-type: none"> ・5月は、連休は予想通り宴会、会議とも売れなかったが、後半になって宿泊の稼働が良かった。6月、7月共に予約状況は良好である。
タクシー	<ul style="list-style-type: none"> ・上高地方面は、観光シーズン入りとなったが、まだ客数は少なく稼働率が低かった為、売上は前年を割り込んだ。
リラクゼーション	<ul style="list-style-type: none"> ・GWの客足が少なくなった感じがした。
美容業	<ul style="list-style-type: none"> ・梅雨による影響を考え、早めに矯正をされる方が多かったため大幅に売上が上がった。6月もすでに矯正が多く入っているため上昇傾向にある。

ネイル	<ul style="list-style-type: none"> ・5月は東京ビッグサイトで「ビューティーワールドジャパン」という大きなイベントが開催された。ネイル業界だけではなく美容業界全体の大きなイベントで毎年多くの方が来場する。新作ネイルや商品、クラスルームなど盛りだくさんのイベントである。新商品の購入から勉強もでき、とても活気のあるイベントのため美容業界全体が盛り上がった。
測量・建設コンサルタント業	<ul style="list-style-type: none"> ・事業費が昨年より大幅に伸びたため、金額の大きい仕事が沢山発注されている。利益率の高い仕事を取るためにも総合評価で取れる様、技術者を育成していかなければならないと思う。
ペットサービス	<ul style="list-style-type: none"> ・史上最長のGWにより来店数、売上高共に前年を上回った。 ・夏の繁忙期に向けてスタッフの体調管理に気を使っていきたいと思う。
ホームクリーニング・リネンサプライ	<ul style="list-style-type: none"> ・GW後半も観光客の入りは順調に推移した事が伺える。

